

# 市民福祉会館改修工事設計図

## (ガス設備工事)

### 4 階

図面リスト

図番	図面名称	縮尺
-	表紙・図面リスト	-
G-1	特記仕様書(1)	-
2	特記仕様書(2)	-
3	付近見取図 配置図 系統図	1/300
4	4階平面図(改修後)	1/100
5	R階"(")	1/100
6	4階平面図(改修前)	1/100
7	R階"(")	1/100

仕様書

1. 工事場所 広島県三原市城町1丁目18-6

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積 (㎡), 消防法施行令別表第一の区分, 備考. Includes building name and floor area details.

Table with columns: 工種別, 施設名, 工種別, 屋外. Lists various equipment types like air conditioning, heating, and plumbing.

4. 指定部分 ※無し・有り(工期平成年月日) 対象部分:

Table with columns: 設備名, 仕様, 備考. Lists equipment specifications such as air conditioning units, boilers, and pumps.

- 特記仕様 1. 一般事項 1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁審判部監修の標準設備工事共通仕様書(平成9年版)...

Table with columns: 区分, 項目, 特記事項. Contains specific notes and requirements for materials and equipment.

- ⑧ 工事用電力、水、その他 ⑨ 工事用仮設物 1.0 土工事 ⑩ 養生材の処理 ⑪ 工事写真等 ⑫ 完成写真 ⑬ 完成図その他 ⑭ 施工図等 ⑮ 工事実績情報の登録 1.7. 総合調整 ⑯ 説明書等 ⑰ 図形表示 ⑱ 電気容量及び機器表示 2.1. 負荷等 (消費電力) 2.2. 電線類 ⑲ 機器付属品 ⑳ 配管の仕様

- ⑳ 支持物・固定金具 ㉑ 配管の仕様 ㉒ 電気容量及び機器表示 ㉓ 配管の仕様 ㉔ 電気容量及び機器表示 ㉕ 配管の仕様 ㉖ 電気容量及び機器表示 ㉗ 配管の仕様 ㉘ 電気容量及び機器表示 ㉙ 配管の仕様 ㉚ 電気容量及び機器表示

Table with columns: 設計用温度条件, 外気条件, 室内(調整目標), 温度(DB), 湿度(WB), 速度(WB), 湿度(WB), 速度(WB), 湿度(WB), 速度(WB). Includes a table for design temperature conditions.

- 2.1. 設計用温度条件 2.2. 冷水・温水・冷温水・ドレン管 2.3. 冷却水管 2.4. 配管・空気抜・排給水管 2.5. 高気給水管 2.6. 高気送水管 2.7. 油・油用通気管 2.8. 冷媒管 2.9. 弁類 2.10. ファンコイルユニット 2.11. 天井吊りFCU及び全熱交換形換気扇 2.12. 放熱器 2.13. 吹出口・吸込口 2.14. ダクト 2.15. 防煙・防火ダンパー 2.16. チャンバー等 2.17. 消音内貼り 2.18. グリス除去装置 2.19. 調節流量計及び流量測定口

市民福祉会館改修工事(ガス設備工事) 設計図 Date

図面名称 特記仕様書(1) Scale No. G-1

<p>20. 定風量・変風量ユニット</p> <p>21. 温度計</p> <p>22. 圧力計</p> <p>23. 冷凍水管等の空気抜き</p> <p>24. 煙道</p> <p>25. オイルサービスタング</p> <p>26. 油積算流量計</p> <p>27. 地下オイルタンク</p> <p>28. フィルターの予備品</p> <p>29. 防振基礎</p> <p>30. 冷凍機の安全弁等のガス放出管</p> <p>31. 蒸気ボイラー安全弁放出管</p> <p>32. 冷媒ガス</p> <p>33. 直だし吸収冷凍水機</p>	<p>・ 冷凍機種の冷水出口</p> <p>・ 冷凍機種の冷却水出口</p> <p>・ ボイラー又は熱交換器の排水出口</p> <p>・ 冷凍水ヘッダーの各送り管</p> <p>・ ユニット形空気調和機の冷水水入口</p> <p>・ 瞬間流量計</p> <p>・ 測定用タッピング</p> <p>・ 瞬間流量計</p> <p>・ 測定用タッピング</p> <p>・ 瞬間流量計</p> <p>・ 測定用タッピング</p> <p>・ ユニット形空気調和機の冷水水入口</p> <p>・ 瞬間流量計</p> <p>・ 測定用タッピング</p>	<p>・ メカニカル形</p> <p>・ 風速センサー形</p> <p>・ 標準によるほか指示した箇所及び下記の箇所に取付ける。</p> <p>・ ユニット形空気調和機の送風ダクト、外気ダクト及び給気ダクト。</p>	<p>4. 弁類</p> <p>5. 保温</p> <p>6. 定水位調整弁</p> <p>7. 水栓柱</p> <p>8. 水栓</p> <p>9. FRP製タンクのマンホール</p>	<p>ニ) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合</p> <p>ホ) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上 融着継手</p> <p>ヘ) ゴム輪接合の場合、覆蓋以外の継ぎ手口には融着防止金具取付とする。</p> <p>チ) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>ト) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。</p> <p>電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン</p> <p>窒素酸根、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、腐食性物質</p> <p>イ) 必要に応じて接続する配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ロ) 蓄電タンク以外の配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ただし、特記部分はJIS10Kとする。</p> <p>ハ) 給水引込部の ・ 止水栓 ・ 弁類 は水道事業者の指定品とする。 ・ 施工しない</p> <p>ホ) 積氷機、ステンレス製タンクの保温 ・ 施工する ・ 施工しない</p> <p>ニ) 共通仕様書による (付属品含む) ・ 水道事業者指定品</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ 人造石と並び製 ・ アルミニウム合金製</p> <p>イ) 屋外の水栓は ・ キーハンドル</p> <p>ロ) 台所流し用の水栓は湯沸式とする。</p> <p>屋外に設置するFRP製水機の水栓は二重蓋 (複合蓋) とする。</p>	
	<p>1. 配管材料</p> <p>2. 弁類</p> <p>3. 湯沸器</p>	<p>イ) 屋内給水管 ・ メカニカル形排水継ぎ管 (1種管) ・ メカニカル形排水継ぎ管 (2種管)</p> <p>ロ) コーティング鋼管 ( ※ タルエポキシ ・ 塩化ビニル) ・ 鉛管</p> <p>ハ) 排水用塩化ビニル管 (VCP)</p> <p>ニ) 屋内給水管 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 鉛管</p> <p>イ) コーティング鋼管 ( ※ タルエポキシ ・ 塩化ビニル)</p> <p>ロ) 排水用塩化ビニル管 (VCP)</p> <p>ハ) 湯沸器 ・ 湯沸器用塩化ビニル管 (VUP) てもよい。</p> <p>ニ) 屋外給水管 ・ 合流式の40A以下の配管はコーティング鋼管を使用する。</p> <p>イ) 通気管 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 鋼管塩化ビニル管 (VVP)</p> <p>ロ) 屋外給水管 ・ 遠心方鉄管コウロウト管 ・ 鋼管塩化ビニル管 (VUP) 再生管) ・ 鋼管塩化ビニル管 (VVP)</p> <p>ハ) 水道用耐衝撃性鋼管塩化ビニル管 (H1VVP)</p>	<p>2. 燃焼試験</p> <p>3. グリース積集</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>2. 弁類</p> <p>3. 湯沸器</p>	<p>1. 消火栓弁の耐圧</p> <p>2. 配管材料</p> <p>3. 保温</p> <p>4. 屋外消火栓・ホース巻納箱</p> <p>5. 新ガス系消火の経路</p> <p>6. 二酸化炭素消火機の起動方式</p> <p>7. 新ガス系消火の起動方式</p>
	<p>1. 一般事項</p> <p>2. ダクト</p> <p>3. 排煙口</p>	<p>空調、暖房、換気の当該事項を適用する。</p> <p>※ 高圧ダクト ・ 高圧ダクト</p> <p>※ 悪臭除去機 ・ 鋼製製</p> <p>イ) 形状 ・ 可動羽根 ・ 可動パネル</p> <p>ロ) 開放装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの</p>	<p>1. 中央監視制御装置</p> <p>2. 電源装置</p> <p>3. 温度調節器等</p> <p>4. 計装工事の記録</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>2. 液化石油ガス容器</p> <p>3. ガスメーター</p> <p>4. 容器取りの配管</p> <p>5. 容器転倒防止</p> <p>6. ガス漏れ警報器</p> <p>7. その他</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>2. 液化石油ガス容器</p> <p>3. ガスメーター</p> <p>4. 容器取りの配管</p> <p>5. 容器転倒防止</p> <p>6. ガス漏れ警報器</p> <p>7. その他</p>
	<p>1. 中央監視制御装置</p> <p>2. 電源装置</p> <p>3. 温度調節器等</p> <p>4. 計装工事の記録</p>	<p>・ 有り (構成機能は指示による) ・ 無し</p> <p>・ 要 ( ・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要</p> <p>取付け高さは ※ 1300mm</p> <p>イ) 屋外、屋内露出の配管は、図面に特記のない限り金属管製とする。</p> <p>ロ) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項 22.電線類の規格による。(機器、盤類はこれによらなくてもよい)</p> <p>用途: ①電源線、接地線</p> <p>②電気式の調節器 (サーモ・ヒューミディ等) 用電線</p> <p>③各種機器 (温度・湿度等)、操作器 (バルブ・ダンパー等) における弱電線、通信線を除く制御線</p>	<p>1. 大便秘器・小便器</p> <p>2. 小便器用洗淨配管</p> <p>3. 小便器用洗淨水排水装置</p> <p>4. 自動水栓</p> <p>5. 手洗い器・洗面器</p> <p>6. 水石けい入れ</p> <p>7. 化粧鏡</p> <p>8. 和風大便秘器の排気処理</p>	<p>1. 量水器</p> <p>2. 量水器類</p> <p>3. 配管材料</p>	<p>1. 量水器</p> <p>2. 量水器類</p> <p>3. 配管材料</p>

<p>○機械式駐車設備</p> <p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 構造</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載重量</p> <p>6. 電源・容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様書適合品 ・ 製造標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多層 ( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降横行式 ・ 昇降横行ピット式</p> <p>長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000</p> <p>※ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____ kw 同時動作 _____ 分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>※ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>※ 出屋警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>構造体の設計用水平精度 _____</p>
---	--

建設大臣官庁官庁事務部監修の「建築材料・設備材料等品質評価事業 設備材料等評価名簿 (平成12年版)」記載材料表

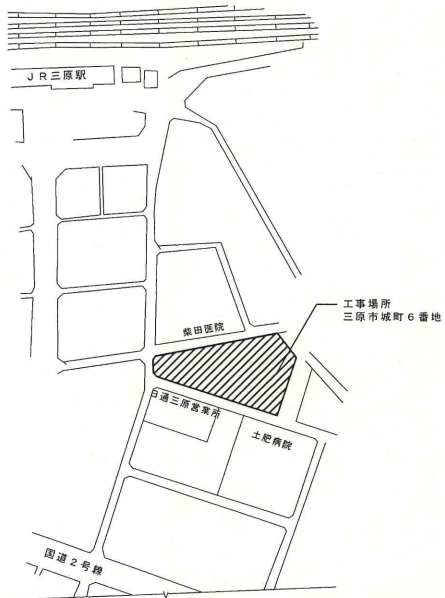
品目	種別名	備考
弁及び継手	減圧弁・温度調節弁 給排水継手 (パイプジョイント、スリーブ形) 一般配管用ステンレス継ぎ手	
ボイラー	鋼製製ボイラー 鉛管製ボイラー	
湯水発生機	電気式湯水発生機 (電気・燃料製) 電気式湯水発生機 (鋼製・燃料製)	
冷凍機	チリリングユニット (空気調和機ヒートポンプユニットをきむ) 直だし吸収冷凍水機 小型直吸収冷凍水機ユニット	
冷却塔	冷却塔	
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット パッケージ形空気調和機 (電動式) コンパクト形空気調和機	
空気清浄装置	ファンコイル型パッケージ形空気調和機 エアフィルター (イオン形、折込形、自動) 自動吸収型エアフィルター 電気集じん器	
全熱交換器	全熱交換器 (回転形、静止形) 全熱交換ユニット	
送風機	遠心送風機 (多室形送風機) 軸流送風機 斜流送風機 消音ボックス付送風機	
ポンプ類	噴射ポンプ 水車ポンプ-ポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 直吸型ポンプ	
ダクト付属品	吹出口・吸込口 風量ユニット (定風量、変風量)	
自動制御	自動制御システム	
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット	
タンク	FRP製バルネルタンク 鋼製バルネルタンク 密閉型鋼製貯水タンク	
消火装置	スプリングラダー消火システム 二酸化炭素消火システム 泡消火システム	
試験器具	マンホールふた・弁類	

補足事項

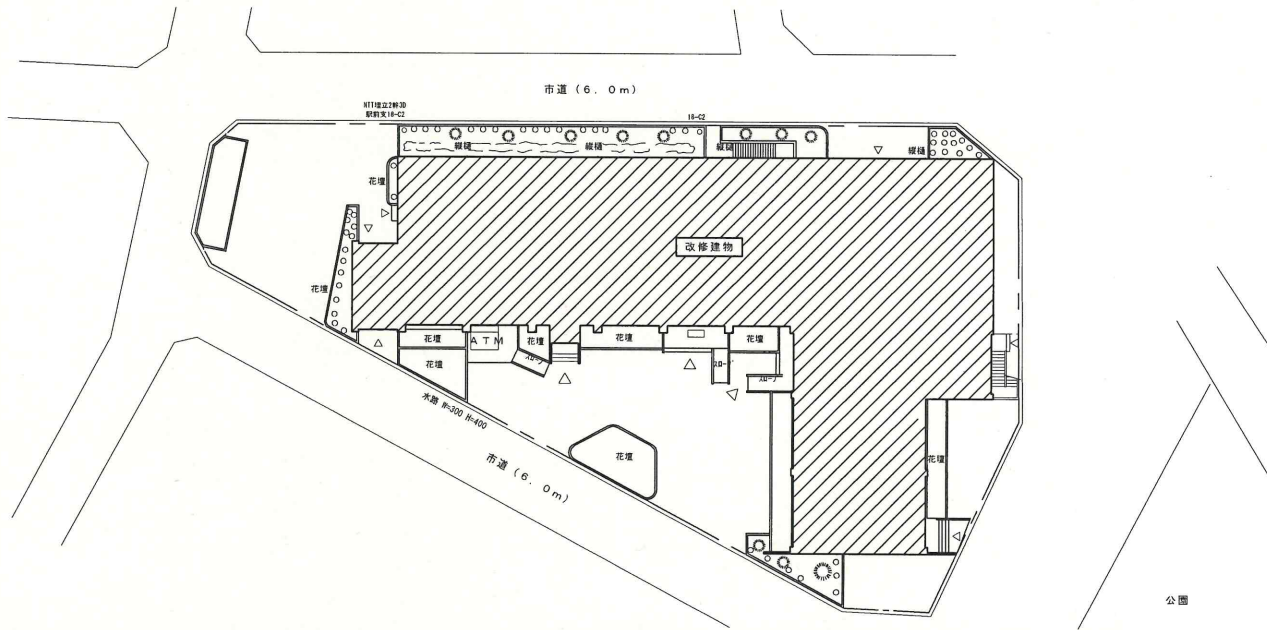

メーカーリスト

機材名	製造所名
ガス給湯器	ノーリツ リンナイ パナソニック バイパス パロマ

付近見取図



配置図 1/300

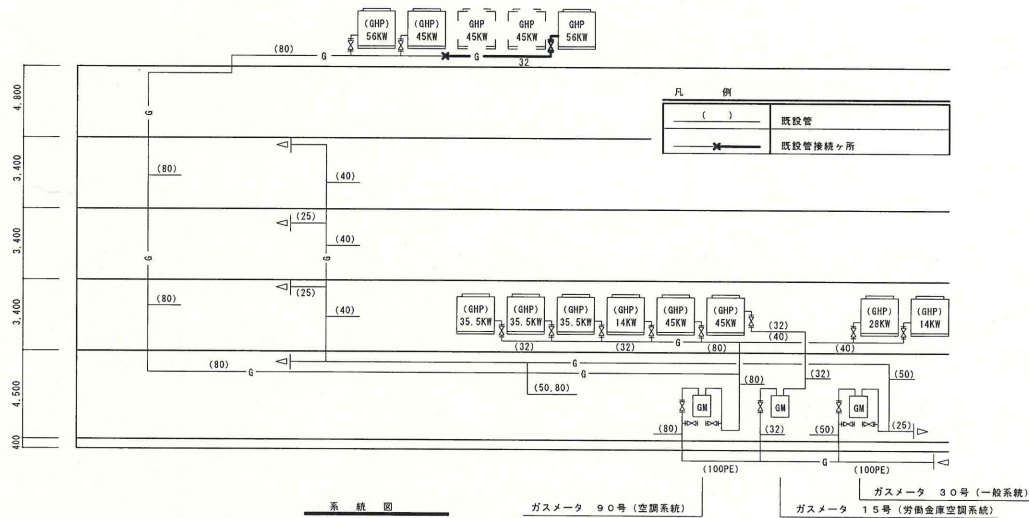


凡例

記号	名称	管種	規格	備考
—G—	都市ガス管	配管用炭素鋼管 白管	JIS G 3452	屋外露出部分は塗装仕上げとする。

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの場合は、精算金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。



市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)

設計図




図面名称 付近見取図 配置図 系統図

Date

Scale 1/300

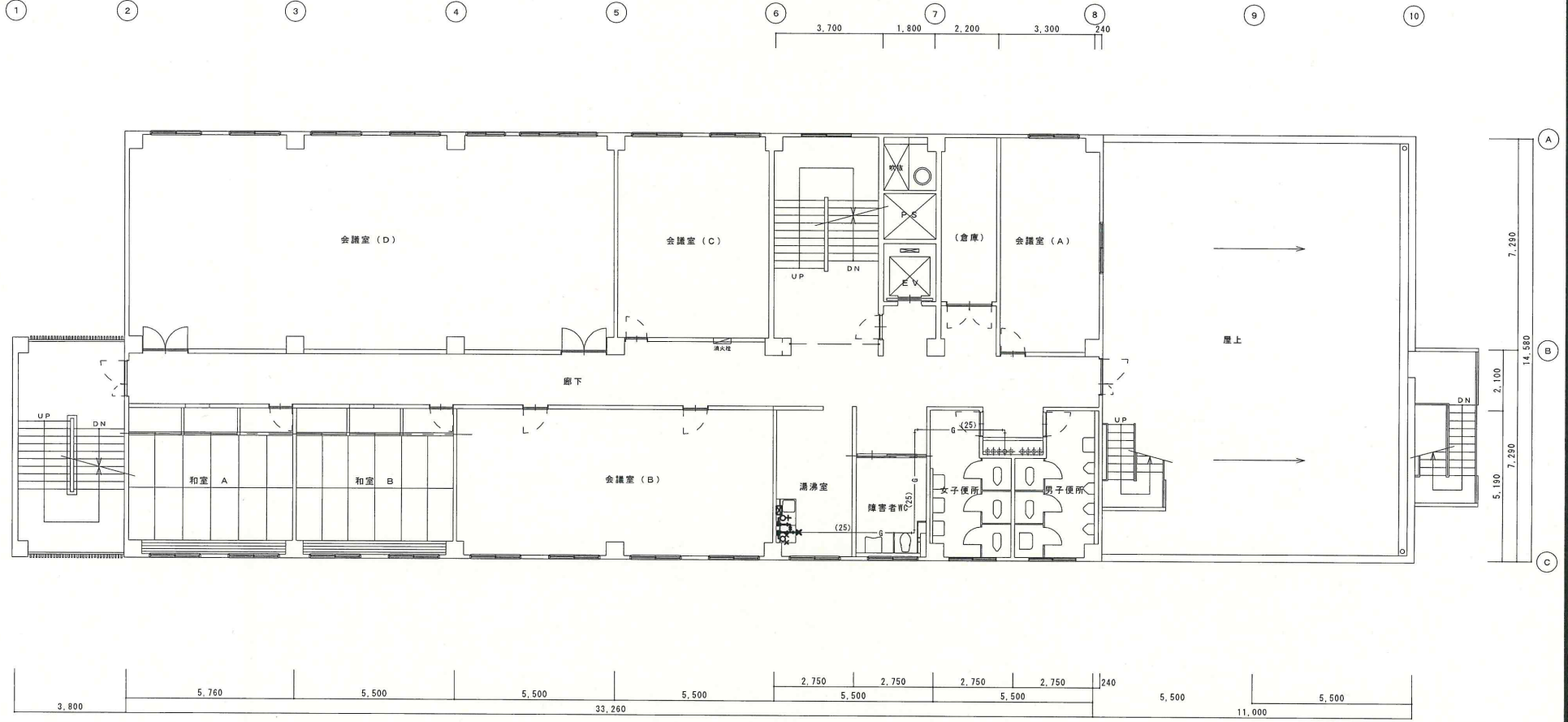
No. G-3

凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

湯沸室器具表

名 称	規 格	数 量	備 考
双口ヒューズガス栓	N825R CG-2共	1	
ガス瞬間湯沸器	5号 元止メ	1	
可とう管ガス栓	G331	1	
強化ガスホース	T1/2 x 200L	1	

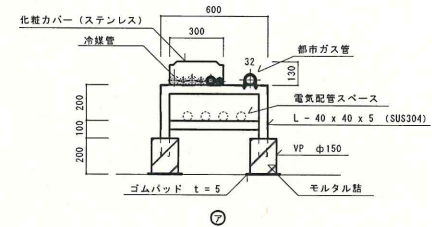


凡 例

	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

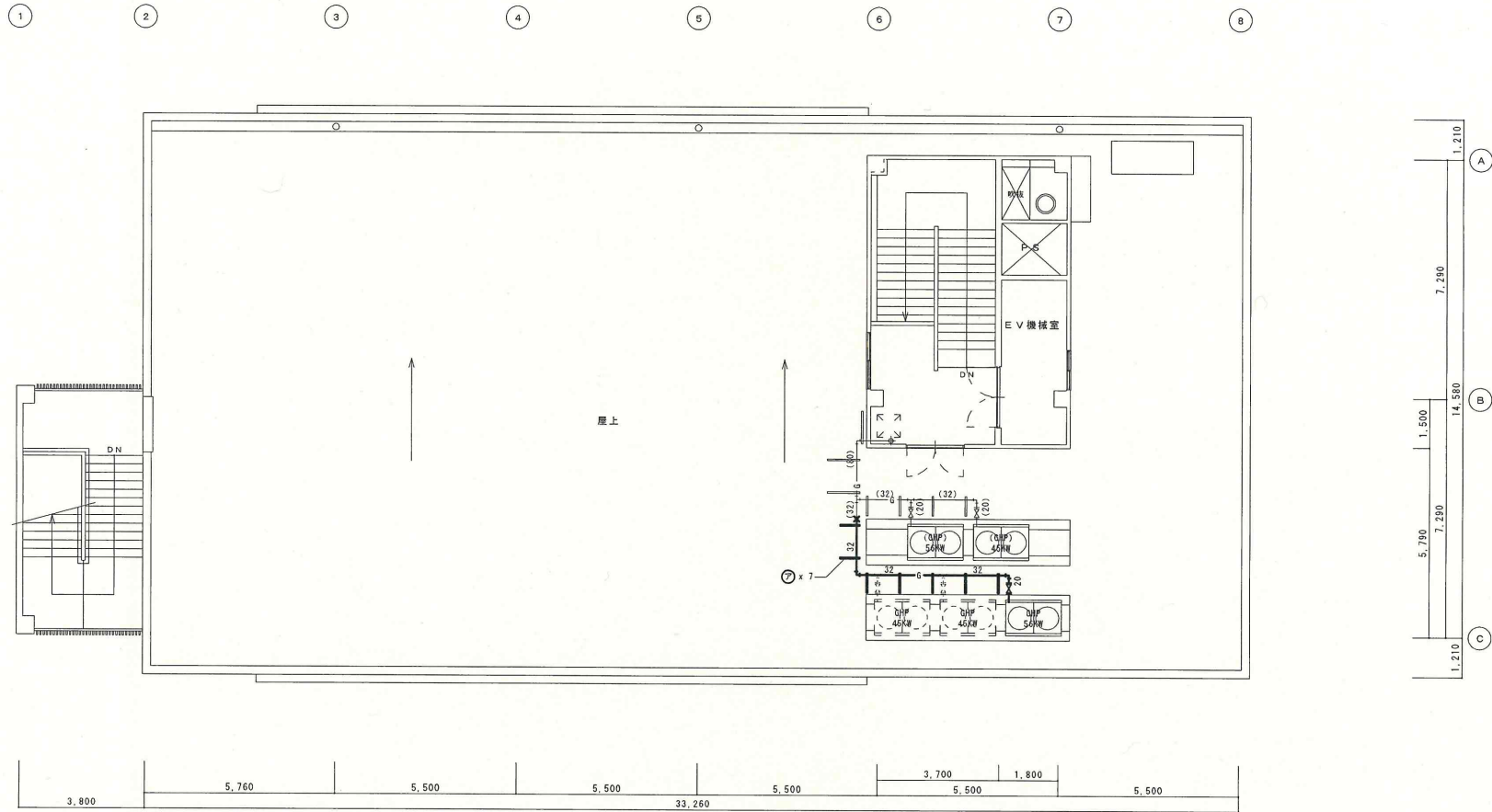
屋上器具表

名 称	規 格	数 量	備 考
換気口付ネジガス栓	FF-752A	1	
速化ガスホース	20A x 500L	1	



※ 配管用架台は、別途空調和設備工事とする。

屋上配管要領図



市民福祉会館改修工事（ガス設備工事）

設計図



図面名称 R 階平面図（改修後）

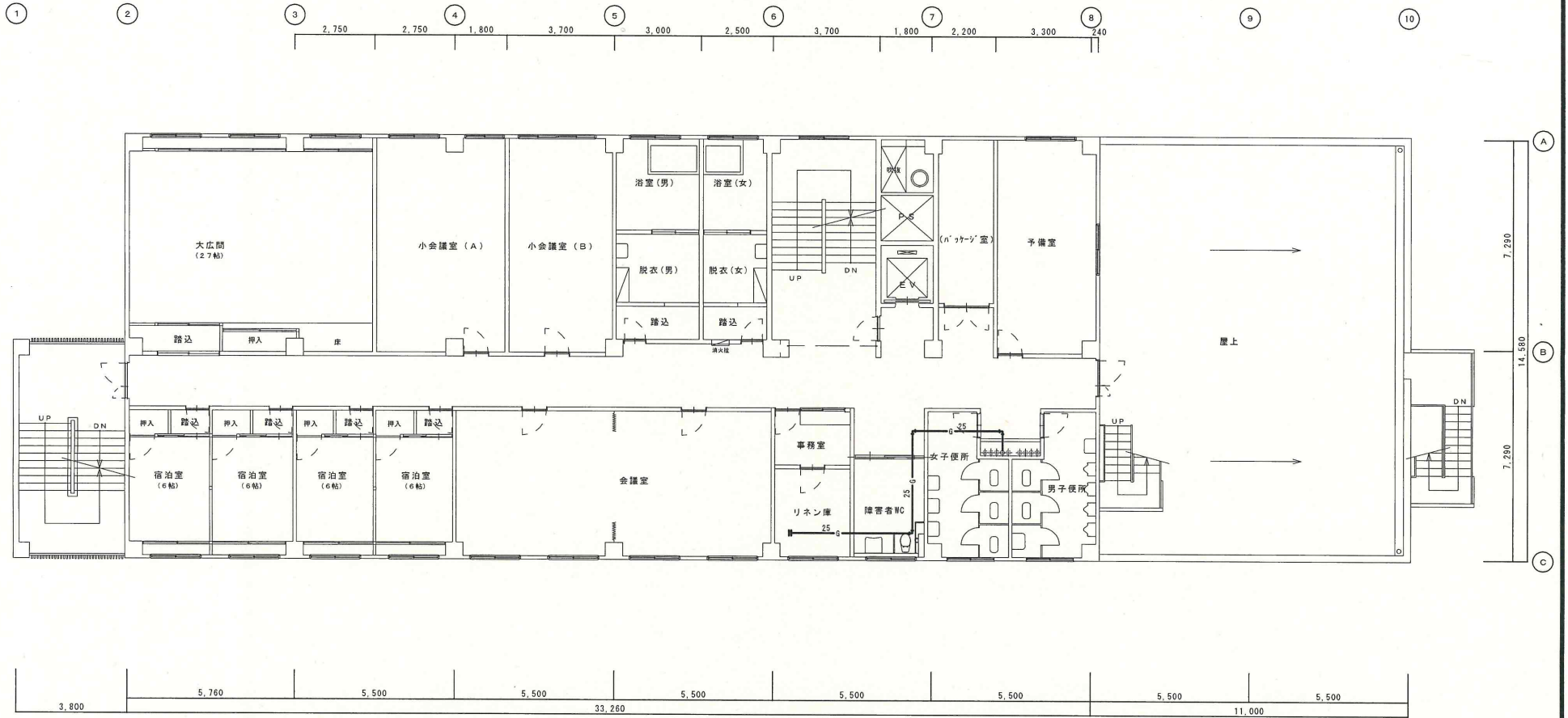
Date

Scale 1/100

No. G-5

凡例

記号	内容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋め精修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事







# 市民福祉会館改修工事設計図

## (ガス設備工事)

### 5 階

図面リスト

図番	図面名称	縮尺
-	表紙・図面リスト	-
G-1	特記仕様書(1)	-
2	特記仕様書(2)	-
3	付近見取図 配置図 系統図	1/300
4	4階平面図 (改修後)	1/100
5	R階 " ( " )	1/100
6	4階平面図 (改修前)	1/100
7	R階 " ( " )	1/100

仕様書

- 1. 工事概要
1. 工事場所
2. 建物概要

広島県三原市城町1丁目18-6

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積(m2), 消防法施行別表第一の区分, 備考

3. 工事種目

Table with columns: 建物及び屋外, 工事種目, 工事種別, 屋外

4. 指定部分

※ 無し・有り(工期 平成 年 月 日)
対象部分:

5. 設備概要

Table with columns: 設備種別, 設備概要

II. 特記仕様

- 1. 一般事項
1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁審判部監修の機械設備工事共通仕様書(平成9年版)
2) 電気設備工事及び建築工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事それぞれの特記仕様書を採用する。
2. 特記事項
1) 区分は、専ら、項目は、専らに印付いたものを用いる。
2) 特記事項のうち選択する事項は、印付いたものを用いる。ただし、印のない場合は※印を用いる。
○印 ※印の場合両方を適用する。

Table with columns: 区分, 項目, 特記事項

- 1. 工事前電力、水、その他
2. 工事前仮設物
10. 土工事
11. 養生材の処理
12. 工事写真等
13. 完成写真
14. 完成図その他
15. 施工図等
16. 工事実績情報の登録
17. 総合調整
18. 説明書等
19. 図形表示
20. 電気容量及び機器表示
21. 負担金等
22. 電線類
23. 機器付属の制御盤
24. 塗装
25. 保温
26. 防振継手
27. 伸縮継手
28. 弁
29. 埋設表示
30. はつり工事
31. 補修など

本工事に必要な工事前電力、水などは無償で供給とする。
官公庁への手続などの費用は請負者の負担とする。
構内につくることが、できる ○できない
イ) 埋戻しは ※ 掘り出しの中身質土(ヒューム管以外の管の周囲は山砂の類)
ロ) 残土処分は ※ 構外に搬出し適切に処理(約 km) ・ 埋戻しをなす
ハ) 引渡しを要するもの、※ 無し・有り( ・ 機器類 ・ 配管類 )
ニ) 特別管理産業廃棄物 ※ 無し・有り( ・ )
ホ) 再生資源の利用を図ると指定されたもの ※ 無し・有り( ・ )
ヘ) 引渡しを要するもの以外は構外搬出処理とし、搬出し及び処理費は別注とする。
建設大臣官庁審判部監修「工事写真集の採り方(改訂第2版) - 建築設備編 -」によるほか、監督機員の指示による。

Table with columns: 分類規格, 枚数, 部数, 産地の大きさ(mm)

共通仕様書による完成図その他を監督機員に提出する。提出部数 3部
完成図はCADにより作成し、CADデータをもたはばD等にて提出する。
施工図の添削及び図面確認(1部)を監督機員に提出する。なお、当該建物の取得する施工図等の事件に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。(FDにて提出)
○ 要 ・ 不要
下記項目の総合調整を行い測定値を監督機員に提出する。(2部)
・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外気温度の測定 ・ 騒音の測定
・ 室内気流及びじんあい測定 ・ 浄化槽の放流水水質
測定箇所等は監督機員の指示による。

監督機員と協議の上、設備機器及び一連の設置等の取扱い要領を記載した説明書を作成する。
設備類は、図示する形状及び設置等の取出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
イ) 電気設備は、材料等指定等は、原則として表示された箇所に与える。
ロ) 機器の能力、容量等は原則として表示された箇所に与える。
・ 給水引込負担金(加入金及び付金等を含む) ( ・ 本工事 ・ 別注) 円
・ ガス引込負担金 ( ・ 本工事 ・ 別注) 円
・ 下水道等接続負担金 ( ・ 本工事 ・ 別注) 円

イ) 本工事においては、次の電線類(EMケーブル)の規格を追加する。

Table with columns: 呼称, 記号, JCS規格, 名称

ロ) EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。

Table with columns: 記号, 仕様

ハ) EMケーブルの電線の色別は、原則として建設大臣官庁審判部監修の電気設備共通仕様書(平成9年版)による。

共通仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする
・ ボイラー及び冷凍機等の付属機器の始動スイッチ二次側に保護電圧計用の電源端子を設ける。
線路及び線径は、共通仕様書 ※ 適用する ・ 機器取付による
インバータ用の制御及び操作盤は、共通仕様書 ※ 適用しない ・ 機器取付による
下記の書庫、設備等の取付メッキを施した配管、ダクト及び支持物・ダクト構成部材の取付は行わない。
○ 中央換気室 ○ 各種換気室 ○ 庫庫
電気室 自然換気室
イ) 暖房熱源室室内の配管の露点対策は、ポリスチレンフォーム保温材とあるものと同じ施工種別のロックワールまたはグラスウール保温材を使用する。
ロ) 冷媒管の保温材は、断熱材 ・ 断熱材 ・ 断熱材 ・ 断熱材
材質は、塩化ビニル樹脂製 ・ アルミ合金製 ・ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製

ハ) 共通の保潔種別
ニ) 全熱交換器の気密構造( ・ 換気弁装置 ・ 機器室内側)は、保温(25mm厚)する。
ホ) 厨房用排気ダクトの断熱(断熱材) ・ h(イ) ・ 行わない
※ 合成ゴム(弾力) ・ ポリテトラフルオロエチレン製 ・ ペローズ断熱材(ステンレス製)
※ ベローズ製 ・ スリーブ製
ステンレス製に使用するハルプは5.0A以下は黄銅製、6.5A以上はステンレス製を使用する。
共通仕様書によるほか図面記載の箇所に設ける。(埋設表示)
既設のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
工事の進捗に伴い既設部分を汚染または損傷した場合は、既成にない限り修繕する。

- 33. 配管の建物導入部
34. 異種管の接続
35. ポンプの取付機
36. 他工事との取合い
37. 耐震措置
38. 凍結配管の保護
39. 撤去工事
40. ステンレス鋼管の接合方法
41. 鋼管類の防食処理
42. 天井仕上区分
43. 工事安全計画書

支持物・固定金具
ボンプ及び屋外設備機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製(SUS304)とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金具等はステンレス製(SUS304)とする。

設計用温度条件
表 1. 設計用温度条件
表 2. 設計用湿度条件

- 2. 冷水・温水・冷凍水・ドレン管
3. 排水・給水管
4. 給排・送気管
5. 排気給気管
6. 蒸気送水管
7. 油・油用送気管
8. 冷媒管
9. 弁類
10. ファンコイルユニット
11. 天井吊り形FCU及び全熱交換機取組
12. 放熱器
13. 吹出口・吸込口
14. ダクト
15. 防塵・防火ダンパー
16. チャンバー等
17. 消音内貼り
18. グリス除去装置
19. 網面量計及び流量測定口

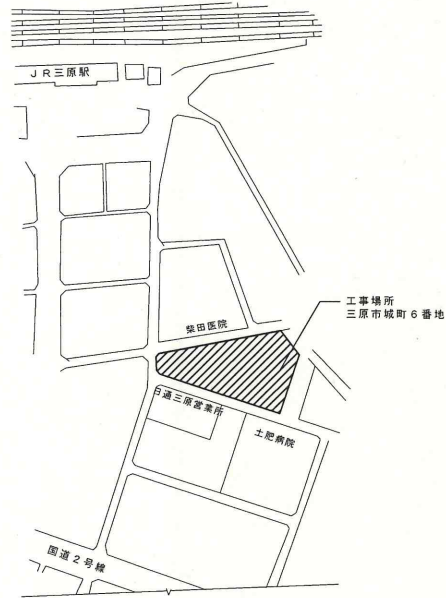
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304)
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 塩ビラニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管
※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管(SUS304)
※ 配管用炭素鋼管(黒管)
※ 圧力配管用炭素鋼管(STPG370 黒sch40)
※ 配管用炭素鋼管(黒管)
※ 断熱材複層構造(緩衝層標準品) ・ 鋼管
JIS S Kとする。ただし、特記部分はJIS I O Kとする。
※ 流量調整弁
・ 定流量弁( ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カトリッジオフリス型)を取付ける。
イ) カセット形の風量の配分は、自己点火性のポリスチレンフォームでもよい。
ロ) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製(ステンレス、新金属も含む)とする。
ハ) 放熱器及びレタリングコック又はトラップを取付ける。
ニ) 高気密用調整弁を取付ける。
イ) アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行わない
ロ) 吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。
イ) ※ 低圧ダクト ・ 高圧ダクト ・ 高圧2ダクト
ロ) 短形ダクトは ※ ファンコイル工法 ・ 共注工法 ・ スライドオフフランジ工法
(長さ1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。)

ハ) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の厚さはアングルフランジ工法とする。
ロ) 厨房用ダクトの取付は「防火予防関係規程の運用について」を適用する。
イ) 防塵ダンパーは ※ 電気式 ・ 空気式 ・ 機械式は ※ 通隔式 ・ 手元式
ロ) 電気式防塵ダンパーの動作電圧、電流は0.24V、0.6A以上とする。
イ) 積込吹出口は、長さ100×300×300の積込用チャンバーを設ける。
ロ) シーリングディフューザーの積込は(施工41)もよい。
既設が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
ハ) 外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には原則として積込とする。
イ) 吹出口接続チャンバー及び取付したダクト並びにチャンバーと積込とする。
ロ) 内貼りチャンパー類の寸法は、外注寸法とする。
ハ) 吹出口接続チャンバー以外に内貼りしたチャンバーには換気口を取付ける。
換気口の大きさは、原則として400×600とする。
・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター
イ) 形式はドット型(コック付)とする。 ・ 兼取式
ロ) 下記の箇所、若しくは指示により取付ける。

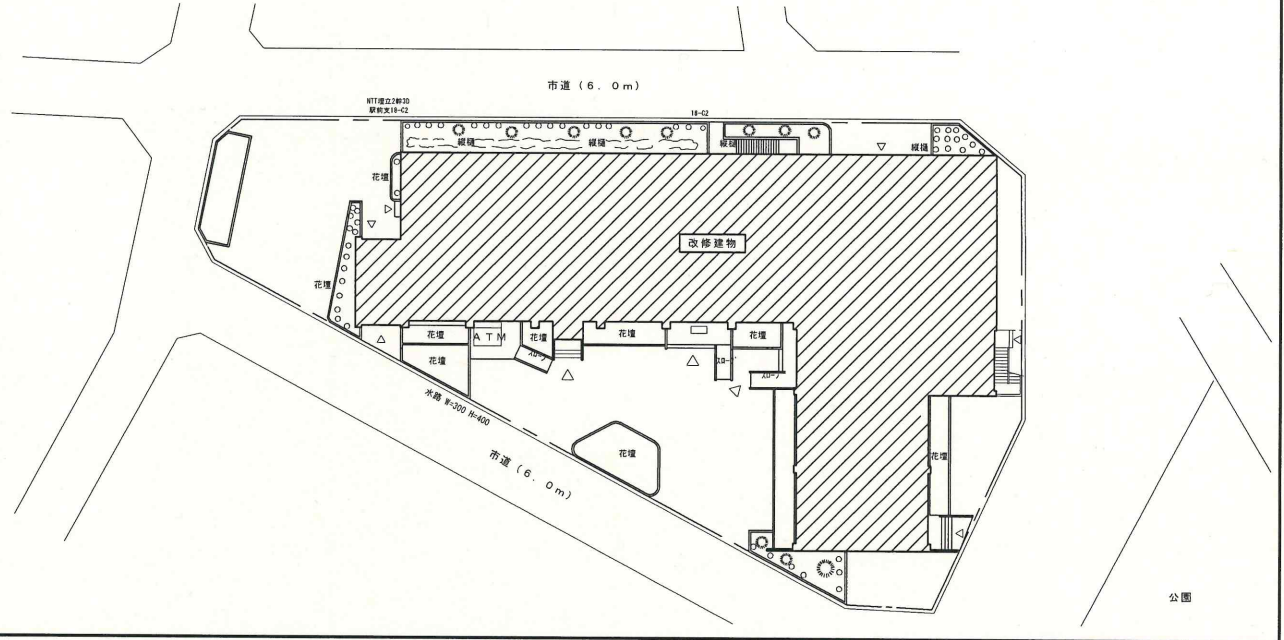
<p>20. 定流量・変流量ユニット</p> <p>21. 温度計</p> <p>22. 圧力計</p> <p>23. 冷凍水管等の空気抜き</p> <p>24. 排水道</p> <p>25. オイルサービスタンク</p> <p>26. 油積算流量計</p> <p>27. 地下オイルタンク</p> <p>28. フィルターの予備品</p> <p>29. 防振基礎</p> <p>30. 冷凍機の安全弁等のガス放出管</p> <p>31. 高気圧ボイラー安全弁放出管</p> <p>32. 冷媒ガス</p> <p>33. 直だし吸収冷凍水機</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍機種の冷水出口</li> <li>冷凍機種の熱湯水出口</li> <li>ボイラー又は熱交換機の温水出口</li> <li>冷凍機ヘッドの各送水管</li> <li>ユニット形空気調和機の冷水水入口</li> <li>瞬間流量計</li> <li>測定用タッピング</li> <li>瞬間流量計</li> <li>測定用タッピング</li> <li>瞬間流量計</li> <li>測定用タッピング</li> <li>ユニット形空気調和機の冷水水入口</li> <li>瞬間流量計</li> <li>測定用タッピング</li> </ul>	<p>4. 弁類</p> <p>5. 保温</p> <p>6. 定水位調整弁</p> <p>7. 水栓柱</p> <p>8. 水栓</p> <p>9. FRP製タンクのマンホール</p>	<p>ニ) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合</p> <p>ホ) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上 融着継手</p> <p>ロ) ゴム輪接合の場合、直管以外の継ぎ手部には漏れ防止金具取付とする。</p> <p>ト) 特記なき給排水の最小口径は20Aとする。</p> <p>チ) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の材質の確認を行う。</p> <p>電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン</p> <p>選別材料、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、高発熱物質</p> <p>イ) 公衆水道に直接する配管に使用するものは、JIS10Kとする。</p> <p>ロ) 高気圧タンク以外の配管に使用するものは、JIS5Kとする。</p> <p>ただし、特記部分はJIS10Kとする。</p> <p>ハ) 給水引込部の止り栓、弁類は水道事業者の指定品とする。</p> <p>ニ) 鋼製、ステンレス製タンクの保温 ・ 施工しない</p> <p>ロ) 共同仕様による(付属品含む) ・ 水道事業者指定品</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ 人造石と出し屋 ・ アルミニウム合金製</p> <p>イ) 屋外の水栓は ・ キーハンドル</p> <p>ロ) 浴所洗用の水栓は浴槽式とする。</p> <p>屋外に設置するFRP製水栓のマンホールは 二重蓋(複合蓋)とする。</p>					
	<p>空気調和・暖房・換気設備</p>	<p>機械付換気装置は ※ 工業用パイプ材温度計 ・ ガード付き形温度計</p> <p>図示した箇所に取付ける。</p> <p>イ) 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて換機の容易な位置に空気抜き弁を設ける(※ 手動 ・ 自動)を設ける。</p> <p>ロ) 測定空気抜き弁装置は、施工30 (a) による。</p> <p>イ) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm</p> <p>ロ) 経路選定計 ・ 取付けない ・ 取付けを要する</p> <p>ハ) 横断面積測定(φ6×2)を ※ 取付けない ・ 取付けを要する</p> <p>イ) 液面制御装置の機能は下記による。</p> <p>※ 給油ポンプの起動、停止</p> <p>※ 減油警報 ・ 減油警報 ・ 送油警報禁止(減油 ・ 減油)</p> <p>ロ) 油面計はゲージ式(棒状)とする。</p> <p>ハ) 送油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上閉回路は、通過警報点とする。</p> <p>※ 設ける(図示した箇所に取付ける) ・ 設けない</p> <p>イ) 取付方法は標準品 ・ 施工24 (タンク室有り) ・ 施工25 (タンク室無し)</p> <p>ロ) タンクの保護措置は ※ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂</p> <p>ハ) 通風量指示装置(電気式で) ・ 屋内 ・ 屋外より油量監視用を取付ける。</p> <p>ニ) 基礎は ※ 不要 ・ 要(自注) ※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>ホ) 土留の工事は ※ 不要 ・ 要(本工事 ・ 別途工事)</p> <p>空気調和機等は又はフィルターチャンバーの設置枚数の50%を予備品(特付)として納める。</p> <p>(但し自動取り扱及びガスフィルターの場合は100%とする。)</p> <p>送油機の防振基礎 防振材(ゴム ・ 金属パネ)</p> <p>方法及び施設基準の規定に基づき設置する。</p> <p>屋外に放出するよう設ける。</p> <p>※ R-22 ( ) ・ R-1 ( )</p> <p>形式 ・ 標準式 ・ 派生式</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>イ) 屋内汚水管 ・ メカニカル排水鉄管(1種管) ・ メカニカル排水鉄管(2種管)</p> <p>ロ) コーティング鋼管(※ タルエポキシ ・ 塩化ビニル) ・ 鉛管</p> <p>排水用塩化ビニル管(硬質塩化ビニル管(VP))</p> <p>ロ) 屋内排水管</p> <p>ニ) 配管用炭素鋼管(白管) ・ 鉛管</p> <p>コーティング鋼管(※ タルエポキシ ・ 塩化ビニル)</p> <p>排水用塩化ビニル管(硬質塩化ビニル管(VP))</p> <p>塩化ビニル等の床下引出部分には硬質塩化ビニル管(VU)でもよい。</p> <p>合形式の40A以下の配管はコーティング鋼管を使用する。</p> <p>ハ) 通気管 ※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>ニ) 屋外排水管</p> <p>※ 導心鉄管コウロート管</p> <p>※ 硬質塩化ビニル管(VU再生管) ・ 硬質塩化ビニル管(VP)</p> <p>※ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p>	<p>2. 燃焼機</p> <p>3. グリース捕集器</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>※ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管</p> <p>※ JIS5Kとする。ただし、水道連結部分及び特記部分はJIS10Kとする。</p> <p>湯沸器には換気ファン駆動装置を設けるものとし、別述電気工事との接続は閉鎖式湯沸器にあっては本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。</p> <p>また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより排炭機を運転すること」と記載した注意板を設ける。</p>			
		<p>排煙設備</p>	<p>空調、暖房、換気の当該事項を適用する。</p> <p>※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト</p> <p>※ 亜鉛板製 ・ 鋼板製</p> <p>イ) 形状 ・ 可動可閉 ・ 可動バルブ</p> <p>ロ) 開放装置は ・ 手動 ・ 手動及び遠隔操作の可能なもの</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>※ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管</p> <p>※ JIS5Kとする。ただし、水道連結部分及び特記部分はJIS10Kとする。</p> <p>湯沸器には換気ファン駆動装置を設けるものとし、別述電気工事との接続は閉鎖式湯沸器にあっては本体に付属する水圧スイッチで行うものとする。</p> <p>また、ガスコンロを使用する場合には「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより排炭機を運転すること」と記載した注意板を設ける。</p>	<p>1. 消火栓の耐圧</p> <p>2. 配管材料</p>	<p>1. 消火栓の耐圧</p> <p>2. 配管材料</p> <p>イ) JIS10K ・ JIS15K</p> <p>ロ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外注被覆鋼管</p> <p>(土間を含む)</p> <p>イ) 汚水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ロ) 汚水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ハ) 汚水配管の保温は次による。</p> <p>・ 屋内汚水栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結排水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p>		
			<p>自動制御設備</p>	<p>1. 中央監視制御装置</p> <p>2. 電源装置</p> <p>3. 温度調節器等</p> <p>4. 計装工事の記録</p>	<p>※ 有り(機能機能は図示による) ・ 無し</p> <p>※ (本工事 ・ 別途工事) ・ 不要</p> <p>取付け高さは ※ 1300mm</p> <p>イ) 屋外、屋内露出の配管は、図面に特記のない限り金属管配管とする。</p> <p>ロ) 原則として、次の用途に使用する電線類はMケーブルとし、規格は一般共通事項 22.電線類の規格による。(機器、盤類はこれによる可ともよい)</p> <p>用途:①電源線、接地線</p> <p>②電気式の調節器(サーモ・ヒューミディ等)用電線</p> <p>③各種検出器(温度・湿度等) ・ 操作器(バルブ・タンク等)における警報電線等、通信線を除く制御線</p>	<p>1. 消火栓の耐圧</p> <p>2. 配管材料</p> <p>イ) JIS10K ・ JIS15K</p> <p>ロ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外注被覆鋼管</p> <p>(土間を含む)</p> <p>イ) 汚水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ロ) 汚水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ハ) 汚水配管の保温は次による。</p> <p>・ 屋内汚水栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結排水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p>		
				<p>衛生器具設備</p>	<p>1. 大便器・小便器</p> <p>2. 小便器用洗淨配管</p> <p>3. 小便器用洗淨水排水装置</p> <p>4. 自動水栓</p> <p>5. 手洗い器・洗面器</p> <p>6. 水石けん入れ</p> <p>7. 化粧鏡</p> <p>8. 和風便器の防臭処理</p>	<p>取付の注意板を取付ける。( ・ 機器表に不要と特記された器具は除く)</p> <p>※ 埋込形 ・ 露出形</p> <p>※ 個別給電方式(電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池)</p> <p>工事範囲は、電気1次側配管設備を除き全て本工事とする。</p> <p>電源供給方式 ・ AC100V ・ 乾電池</p> <p>図示取付品番 (JIS記号等の末尾記号Sは、水石けん入れ付を示す。</p> <p>ロ) 手洗い器 ※ 埋込形 ・ 露出形</p> <p>標準品(施工61)の ※ ② ・ ①</p>	<p>1. 消火栓の耐圧</p> <p>2. 配管材料</p> <p>イ) JIS10K ・ JIS15K</p> <p>ロ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 外注被覆鋼管</p> <p>(土間を含む)</p> <p>イ) 汚水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ロ) 汚水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>ハ) 汚水配管の保温は次による。</p> <p>・ 屋内汚水栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結給水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結排水 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>10-541 ・ 型番 ・ HFC-227.a ・ HFC-23</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p> <p>※ 手動 ・ 自動、手動切替式</p>	
					<p>給水設備</p>	<p>1. 量水器</p> <p>ロ) 子メーター ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>イ) 子メーター ※ 買取り ・ 借用</p> <p>イ) 子メーター ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準品(規格62)</p> <p>ロ) 子メーター ※ 標準品(規格62) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>イ) 一般配管用 ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316)</p> <p>塩化ビニル管(SGP-V) (SGP-FVA) (K-VA)</p> <p>ポリ粉体鋼管(SGP-PA) (SGP-FPA) (K-PA)</p> <p>ロ) 土間配管用 ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316)</p> <p>塩化ビニル管(SGP-V) (SGP-FVD) (K-V) (SGP-FVD) (K-V) (SGP-FVD) (K-V) (SGP-FVD) (K-V)</p> <p>ポリ粉体鋼管(SGP-PD) (SGP-FPD) (K-PD)</p> <p>水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管</p> <p>ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316)</p> <p>塩化ビニル管(SGP-V) (SGP-FVD) (K-V) (SGP-FVD) (K-V) (SGP-FVD) (K-V) (SGP-FVD) (K-V)</p> <p>ポリ粉体鋼管(SGP-PD) (SGP-FPD) (K-PD)</p> <p>水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>水道用ポリエチレン管 水道用配水用ポリエチレン管</p>	<p>1. 配管材料</p> <p>イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>ロ) 土中配管用 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管(PE)</p> <p>(土間を含む)</p> <p>・ 10kg ・ 20kg ・ 30kg 本 ※ 借用 ・ 買取り</p> <p>継ぎ手はガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</p> <p>※ 自動切替式 施工方法は標準品(施工67)の ・ 施工要領(a) ・ 施工要領(b)</p> <p>施工方法は標準品(施工68)の ・ 施工要領(a) ・ 施工要領(b)</p> <p>※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要)</p> <p>警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。</p> <p>・ 別途電気工事</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。</p>	<p>1. 処理種別及び方式</p> <p>・ 単独処理 ( ・ 分館接続ばっ気方式 ・ 分館ばっ気方式)</p> <p>・ 小規模合併処理 ( ・ 分館接続ばっ気方式 ・ 集約型接続ばっ気方式</p> <p>・ 設置型接続ばっ気方式)</p> <p>・ 合併処理 ( ・ 回転駆動機方式 ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式)</p> <p>※ ユニット形 ・ 現場構築形</p> <p>処理対象人員 人 ・ 処理水量 m<sup>3</sup>/d ・ 流入BOD濃度 mg/l</p> <p>BOD 90 ・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/l以下</p> <p>mg/l以下</p>

<p>機械式駐車設備</p>	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>
	<p>1. 構造</p> <p>2. 駐車方式</p> <p>3. 運転装置</p> <p>4. 車間寸法</p> <p>5. 最大積載荷重</p> <p>6. 電源容量</p> <p>7. 運転方式</p> <p>8. 安全装置</p> <p>9. 耐震措置</p>	<p>※ 共通仕様標準適合品 ・ 製造者標準品</p> <p>※ 二段方式 ・ 多段( ) 段方式</p> <p>※ 昇降式 ・ 昇降併行式 ・ 昇降ピット式 ・ 昇降併行ピット式</p> <p>※ 長さm ・ 4.700 ・ 5.000 ・ 5.300 ・ 5.750</p> <p>幅m ・ 1.700 ・ 1.800 ・ 1.900 ・ 2.050</p> <p>高さm ・ 1.550 ・ 2.000 ・</p> <p>・ 1.500kg ・ 1.700kg ・ 2.200kg</p> <p>※ 3φ200V ・ 1φ100V _____kW 同時動作 _____運分</p> <p>※ 押しボタン方式 ・ 自動方式</p> <p>・ 二段方式の「自動停止装置」を除く</p> <p>・ 出庫警報装置を ・ 取り付ける ・ 取りやめる</p> <p>・ 構造体の設計用水平震度 _____</p>	<p>建設大臣官庁住宅省営繕修繕所の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(平成12年版)」記載材料表</p>

付近見取図



配置図 1/300

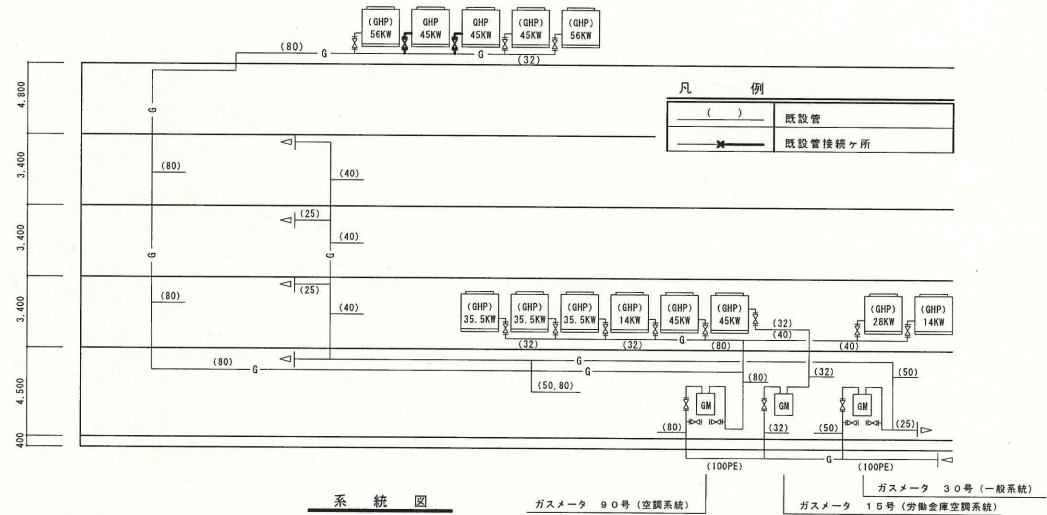


凡 例

記号	名称	管 理	規格	備 考
	都市ガス管	配管用炭素鋼管 白管	JIS G 3452	屋外露出部分は塗装仕上げとする。

特記事項

- ダイヤモンドコア抜きの場合は、積算金額内にて施工する。
- 図示無き機器・配管等で係員の指示するものは撤去処分すること。



系 統 図

市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)


設計図

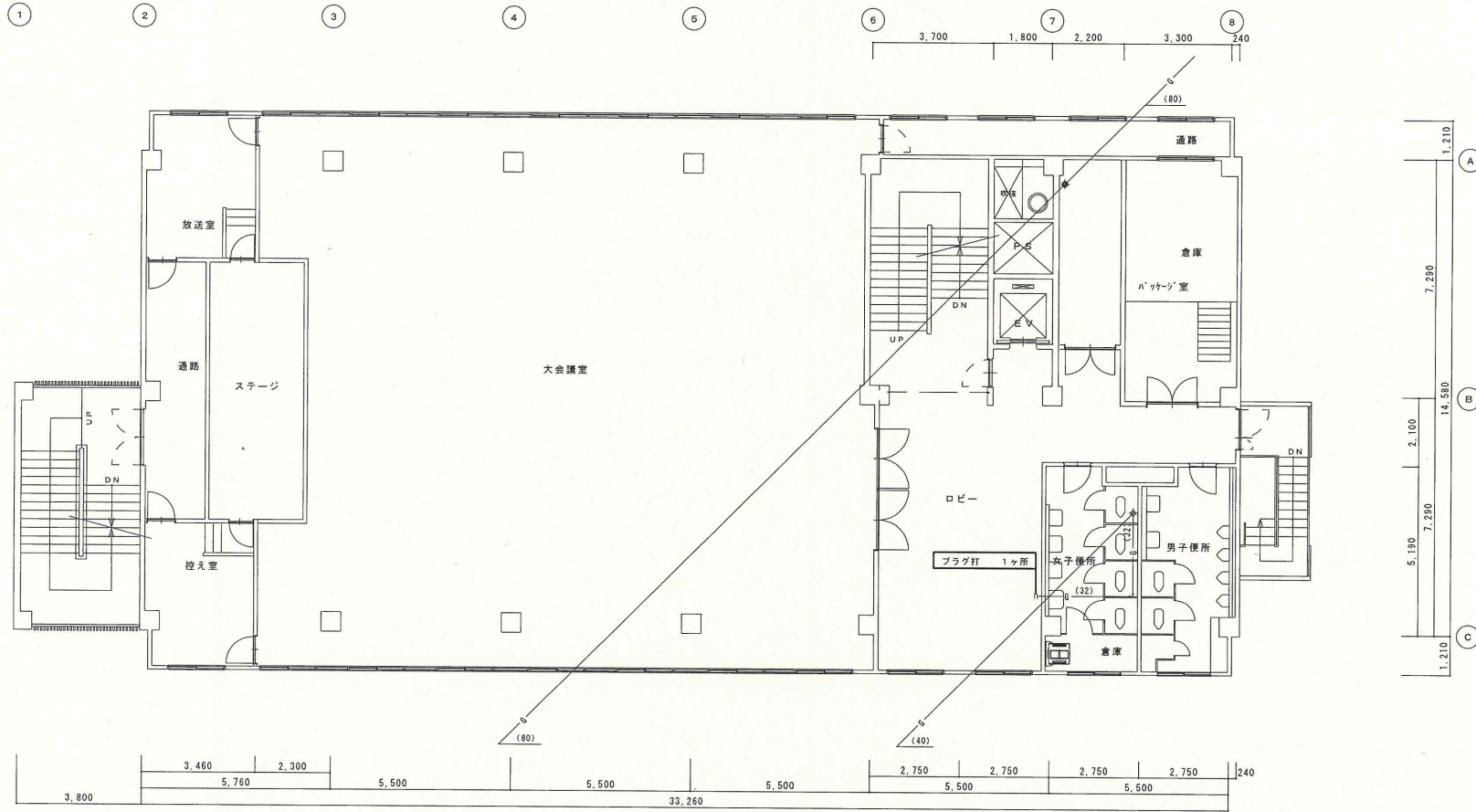
Date

図面名称 付近見取図 配置図 系統図




Scale 1/300

No. G-3

凡 例	
	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

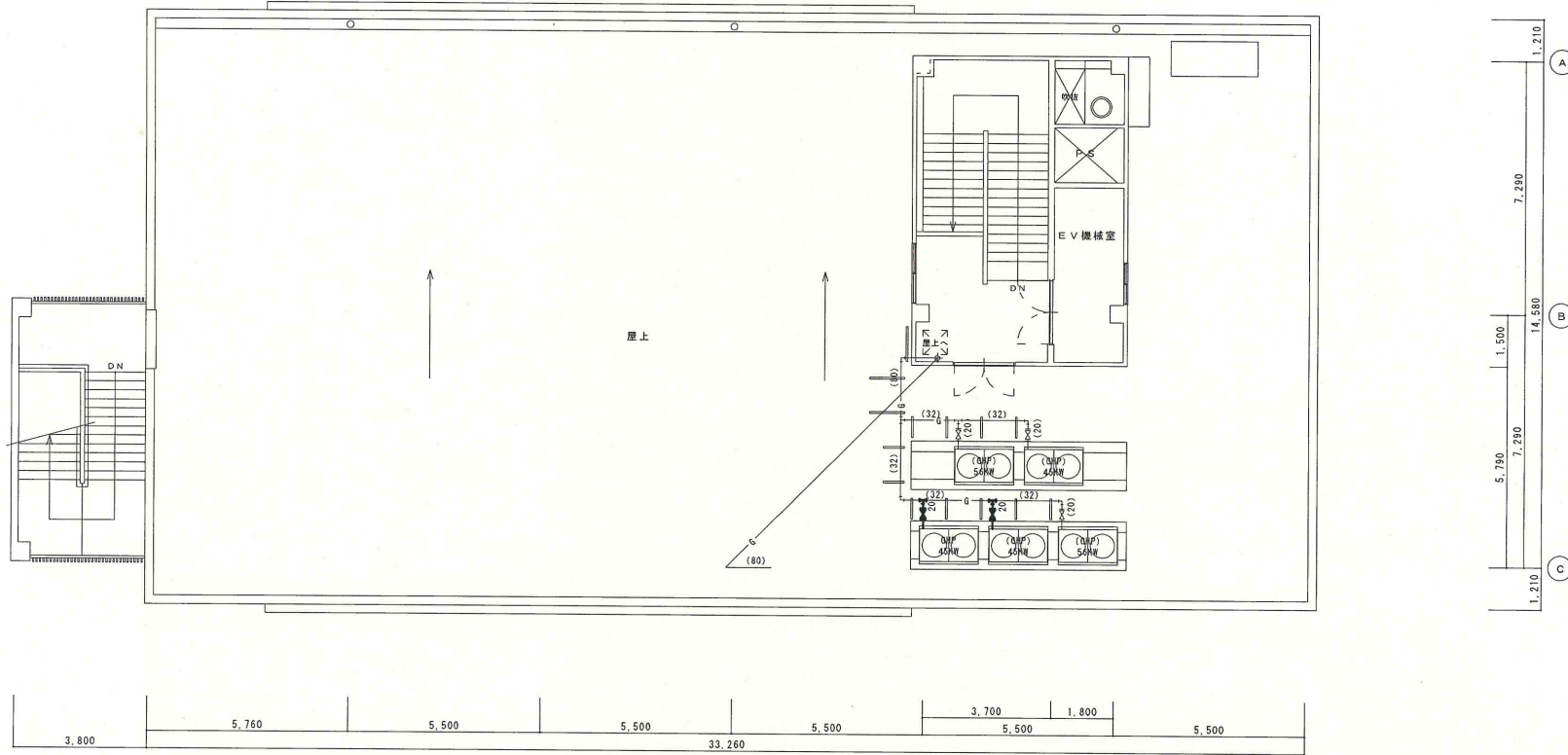


市民福祉会館改修工事 (ガス設備工事)	<b>設計図</b>	図面名称	5階平面図 (改修後)
		Date	Scale 1/100 No. G-4

凡 例	
	穴明け補修部分
	既設管
	既設管接続ヶ所

屋上器具表			
名 称	規 格	数 量	備 考
検査口付ネジガス栓	FF-752A	2	
強化ガスホース	20A x 500L	2	

①      ②      ③      ④      ⑤      ⑥      ⑦      ⑧



市民福祉会館改修工事（ガス設備工事）

設計図



図面名称 R階平面図（改修後）

Date

Scale 1/100

No. G-5

凡 例

記号	内 容
	撤去部分を示す。(埋設部分は放棄)
	配管等撤去後の穴埋め補修は本工事範囲とし、仕上げは建築工事

湯沸室器具表

取付ガスロッド	12 Yφ40		
分岐機用通過器	Eφφ 取付		
等径管分岐コック	15φ		
管径φ20バルブ	15K		

